

中村緑地公園の利活用に関する 基本方針



令和8年3月

澁川市 建設交通部 都市政策課

| | |
|------------------------------|------------|
| I 方針策定における基本的事項 | 1 |
| 1 背景と目的 | 1 |
| 2 公園の概要 | 1 |
| 3 現地の状況 | 2 |
| II 利活用に関する検討 | 4 |
| 1 市民意見の把握 | 4 |
| 2 施設整備案の検討 | 1 6 |
| 3 整備費用の試算 | 2 1 |
| 4 課題の整理 | 2 2 |
| III 事業方針 | 2 5 |
| 今後の事業方針 | 2 5 |

I 方針策定における基本的事項

1 背景と目的

中村緑地公園は、前身である渋川市民ゴルフ場の閉鎖後、土地・建物等の財産を本市が承継し、ゴルフコースが持つ起伏のある地形や優れた景観を活かす形で、平成29年4月から関越自動車道北側範囲の暫定的利活用を開始しました。

中村緑地公園の利活用については、平成30年2月に策定された「中村緑地公園整備計画（以下「整備計画」という。）」によって基本的な整備方針が定められ、“憩いと交流を生む緑につつまれた集いの場の創造”をテーマにこれまで整備事業を進めてきましたが、現在まで本格的な利活用に至っていない状況です。

整備計画の策定から一定の期間が経過する中で、本市を取り巻く環境も日々変化しており、中村緑地公園のあり方についても現状に即して見直しを行う時期に来ているといえます。今回、市有公園全体の現状を踏まえた上で中村緑地公園の課題等を整理し、今後の敷地利活用に関する基本的な方向性を定めることを目的に、当方針を策定するものです。

2 公園の概要

(1) 所在地

渋川市中村830番地5（代表地番：管理事務所の所在地）

(2) 面積

ア 官有地（河川占用部分）

54,564.83㎡

イ 借地（土地使用貸借契約）

183,545.71㎡（渋川市中村向島地区土地利用組合 205筆）

ウ 市有地

4,543.59㎡

合計（ア＋イ＋ウ）

242,654.13㎡

(3) 保有施設（建物等）

ア 管理事務所

鉄骨造2階建て（床面積496.85㎡）

イ 駐車場

約80台（管理事務所敷地内）

3 現地の状況

(1) 公園全体及び周辺地域

サイクリングロード西側に位置する管理事務所及び駐車場敷地を除き、公園内は吾妻川合流地点からおよそ2km下流の利根川右岸の高水敷となっています。ゴルフ場跡地であることから園内は大部分が芝生地となっており、グリーン、バンカー、池、ティーグラウンド等、ゴルフコースが持つ起伏のある地形やコース境界の樹木、防球ネット等の施設がそのまま残されています。敷地のほぼ中央を関越自動車道の高架橋が東西に走り、公園を南北に分断しています。公園の北側には大崎緑地公園が隣接しており、敷地西側にある堤防を兼ねたサイクリングロードを通じて坂東橋緑地公園とも結ばれています。

公園周辺は、(株)カーリット群馬工場やデンカ(株)渋川工場等が立地する工業地域であると共に住宅地も混在しています。主要道路である国道17号及び関越自動車道「渋川伊香保IC」に近接しており、市内外からのアクセス性が高い一方で、主要道路から公園が直接視認できず、初めて訪れる利用者には公園までの導線が分かりにくい等の課題もあります。



【航空写真：中村緑地公園周辺】

(2) 公園施設（広場及び管理事務所等）

ア 関越自動車道から北側のエリア

関越自動車道から北側のエリアは、平成29年4月から軽スポーツや各種レクリエーションが行える多目的な芝生広場として一般開放されており、散歩、ジョギング、ボール遊び等に利用されています。近年流行した新型コロナウイルス感染症の影響によってスポーツ施設等が一時閉鎖された際は、市内外から訪れた利用者が球技練習等を行う風景が多数見受けられました。また、広大な敷地を利用して“しぶかわスポーツクラブまつり”や“凧揚げ教室”等のイベントが年に数回開催されています。

利根川の低水敷に近い敷地東側には5m以上の高木が並んでおり、敷地西側のサイクリングロード沿いは未舗装の園内管理用通路が通っています。



【写真：関越自動車道から北側のエリア】

イ 関越自動車道から南側のエリア

関越自動車道から南側のエリアは、本市が敷地の管理を引き継いだ後は一般開放しておらず、草刈り等の日常管理を行っている状況です。敷地は北側のエリアと同じく芝生地となっており、(株)カーリット群馬工場が使用する取水路が敷地を斜めに横断しています。この取水路によって敷地は2つに分断され、下流側の範囲は利根川と取水路に挟まれた南北に細長い形状となっています。

取水路はゴルフ場建設前に整備された施設で、水路内に溜まった土砂を渇水期に浚渫するため開渠となっており、水路沿いは管理用通路として一定の幅が確保されています。



【写真：関越自動車道から南側のエリア】

ウ 管理事務所及び駐車場

管理事務所は市民ゴルフ場時代のクラブハウスを利用しており、園内を暫定的な利活用としている現状においては、トイレや更衣室、休憩スペースのみを公園利用者向けに開放しています。管理職員は隣接する宮田商会武道館渋川（以下「武道館」という。）に常駐しており、周辺のスポーツ施設等と合わせて維持管理を行っている状況です。

管理事務所1階の事務室や2階の多目的ホール（旧食堂）はしぶかわスポーツクラブへ貸与しており、市内のスポーツ振興を目的とした業務に活用されています。

駐車場は管理事務所敷地内に約80台駐車可能なスペースを有しており、隣接する武道館の利用者も数多く利用しています。



【写真：管理事務所及び駐車場】

左側の建物は武道館、右奥が管理事務所。

II 利活用に関する検討

1 市民意見の把握

平成30年に策定した整備計画では、公園敷地全体を4つのゾーンに区分し、各ゾーンに導入する機能及び施設を設定していますが、具体的な施設内容については定められておらず、また、計画策定から一定の期間が経過していることから、改めて現在の市民意見を把握することを目的とした調査・意見交換等を実施しました。

(1) 市民・学生意識調査

本市の公園全体及び中村緑地公園に対する意識調査（以下「アンケート」という。）を下記のとおり実施しました。

◆調査対象

- ①市内に居住する18歳以上の市民（無作為抽出）
- ②市内の中学校・高等学校に通う第2学年の生徒、渋川特別支援学校高等部の生徒

◆調査方法

アンケート用紙による自記式アンケート

◆調査時期

令和4年5月26日～6月17日

◆アンケート回収率

- ①市民アンケート：37.5%（1,498通／4,000通）
- ②学生アンケート：93.4%（1,251通／1,340通）

《アンケート内容・回答結果》

問1：あなたは、どのような目的で公園を利用しますか。 ※2つ選択

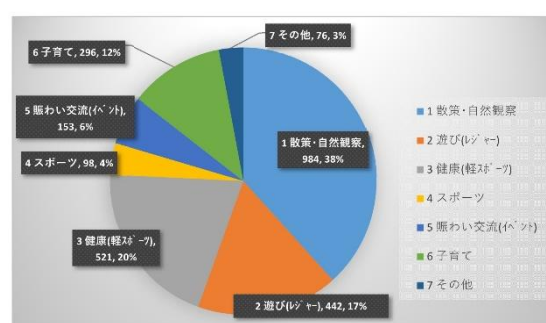
市民アンケートでは「散策・自然観察」が約38%で最も高く、次いで「健康（軽スポーツ）」が約20%となっています。

年代別では、10代は「遊び（レジャー）」、30代は「子育て」、その他の世代は「散策・自然観察」の割合が最も高くなっています。

学生アンケートでは「遊び（レジャー）」が約42%で最も高く、次いで「スポーツ」が約23%となっています。

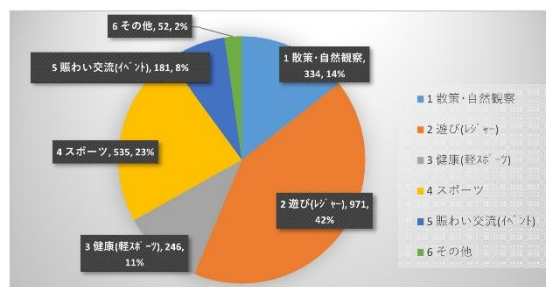
【18歳以上の市民】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-------------|-------|---------|
| 1 | 散策・自然観察 | 984 | 38.29% |
| 2 | 遊び(レジャー) | 442 | 17.20% |
| 3 | 健康(軽スポーツ) | 521 | 20.27% |
| 4 | スポーツ | 98 | 3.81% |
| 5 | 賑わい交流(イベント) | 153 | 5.95% |
| 6 | 子育て | 296 | 11.52% |
| 7 | その他 | 76 | 2.96% |
| 計 | | 2,570 | 100.00% |



【中学生・高校生】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-------------|-------|---------|
| 1 | 散策・自然観察 | 334 | 14.40% |
| 2 | 遊び(レジャー) | 971 | 41.87% |
| 3 | 健康(軽スポーツ) | 246 | 10.61% |
| 4 | スポーツ | 535 | 23.07% |
| 5 | 賑わい交流(イベント) | 181 | 7.81% |
| 6 | その他 | 52 | 2.24% |
| 計 | | 2,319 | 100.00% |



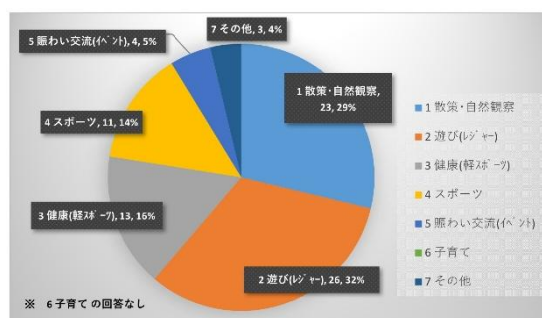
※軽スポーツは、競技スポーツと区別するため“健康(軽スポーツ)”としました。

※学生アンケートでは“子育て”を除いた6項目としました。

《年代別及び中学生・高校生別のアンケート結果》

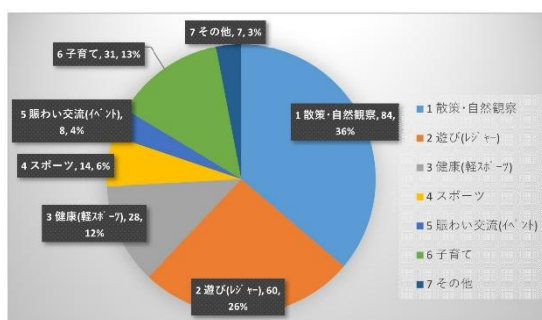
【10代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-------------|-----|---------|
| 1 | 散策・自然観察 | 23 | 28.75% |
| 2 | 遊び(レジャー) | 26 | 32.50% |
| 3 | 健康(軽スポーツ) | 13 | 16.25% |
| 4 | スポーツ | 11 | 13.75% |
| 5 | 賑わい交流(イベント) | 4 | 5.00% |
| 6 | 子育て | 0 | 0.00% |
| 7 | その他 | 3 | 3.75% |
| 計 | | 80 | 100.00% |



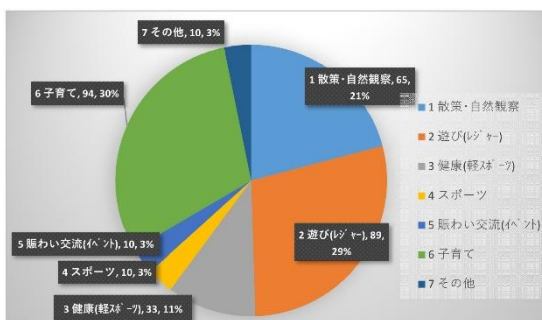
【20代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-------------|-----|---------|
| 1 | 散策・自然観察 | 84 | 36.21% |
| 2 | 遊び(レジャー) | 60 | 25.86% |
| 3 | 健康(軽スポーツ) | 28 | 12.07% |
| 4 | スポーツ | 14 | 6.03% |
| 5 | 賑わい交流(イベント) | 8 | 3.45% |
| 6 | 子育て | 31 | 13.36% |
| 7 | その他 | 7 | 3.02% |
| 計 | | 232 | 100.00% |



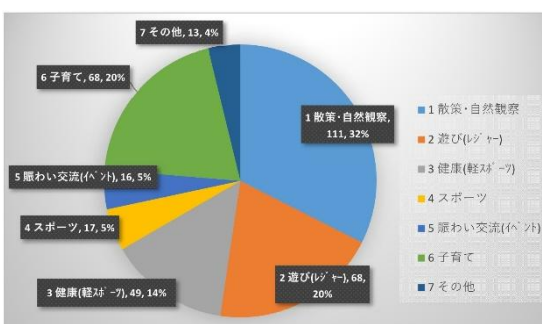
【30代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-------------|-----|---------|
| 1 | 散策・自然観察 | 65 | 20.90% |
| 2 | 遊び(レジャー) | 89 | 28.62% |
| 3 | 健康(軽スポーツ) | 33 | 10.61% |
| 4 | スポーツ | 10 | 3.22% |
| 5 | 賑わい交流(イベント) | 10 | 3.22% |
| 6 | 子育て | 94 | 30.22% |
| 7 | その他 | 10 | 3.21% |
| 計 | | 311 | 100.00% |



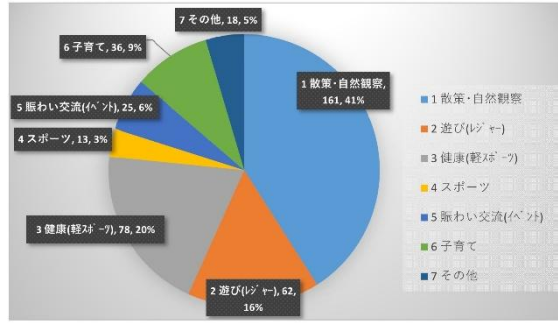
【40代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-------------|-----|---------|
| 1 | 散策・自然観察 | 111 | 32.46% |
| 2 | 遊び(レジャー) | 68 | 19.88% |
| 3 | 健康(軽スポーツ) | 49 | 14.33% |
| 4 | スポーツ | 17 | 4.97% |
| 5 | 賑わい交流(イベント) | 16 | 4.68% |
| 6 | 子育て | 68 | 19.88% |
| 7 | その他 | 13 | 3.80% |
| 計 | | 342 | 100.00% |



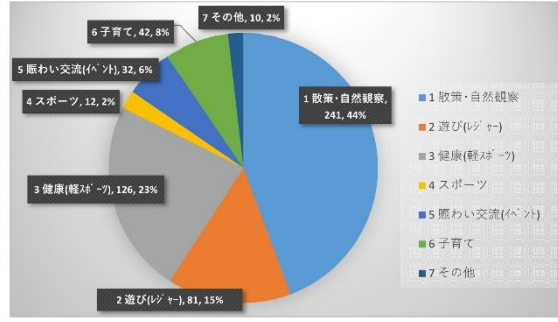
【50代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-------------|-----|---------|
| 1 | 散策・自然観察 | 161 | 40.97% |
| 2 | 遊び(レジャー) | 62 | 15.78% |
| 3 | 健康(軽スポーツ) | 78 | 19.85% |
| 4 | スポーツ | 13 | 3.30% |
| 5 | 賑わい交流(イベント) | 25 | 6.36% |
| 6 | 子育て | 36 | 9.16% |
| 7 | その他 | 18 | 4.58% |
| 計 | | 393 | 100.00% |



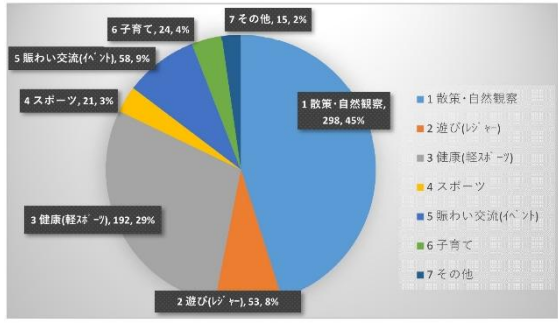
【60代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-------------|-----|---------|
| 1 | 散策・自然観察 | 241 | 44.30% |
| 2 | 遊び(レジャー) | 81 | 14.89% |
| 3 | 健康(軽スポーツ) | 126 | 23.16% |
| 4 | スポーツ | 12 | 2.21% |
| 5 | 賑わい交流(イベント) | 32 | 5.88% |
| 6 | 子育て | 42 | 7.72% |
| 7 | その他 | 10 | 1.84% |
| 計 | | 544 | 100.00% |



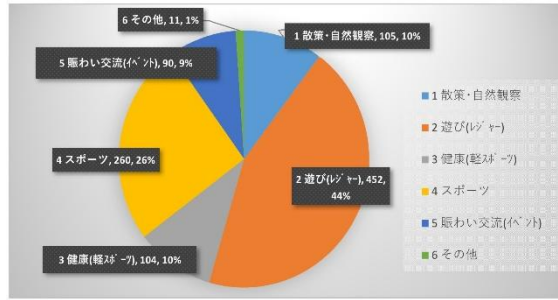
【70代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-------------|-----|---------|
| 1 | 散策・自然観察 | 298 | 45.08% |
| 2 | 遊び(レジャー) | 53 | 8.02% |
| 3 | 健康(軽スポーツ) | 192 | 29.05% |
| 4 | スポーツ | 21 | 3.18% |
| 5 | 賑わい交流(イベント) | 58 | 8.77% |
| 6 | 子育て | 24 | 3.63% |
| 7 | その他 | 15 | 2.27% |
| 計 | | 661 | 100.00% |



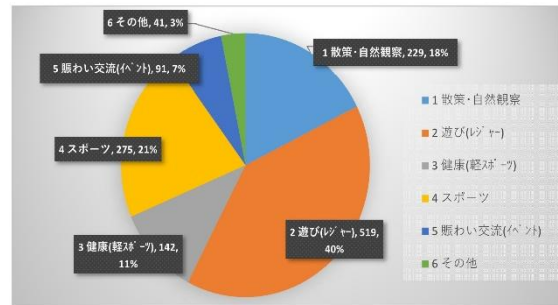
【中学生】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-------------|-------|---------|
| 1 | 散策・自然観察 | 105 | 10.27% |
| 2 | 遊び(レジャー) | 452 | 44.23% |
| 3 | 健康(軽スポーツ) | 104 | 10.18% |
| 4 | スポーツ | 260 | 25.44% |
| 5 | 賑わい交流(イベント) | 90 | 8.81% |
| 6 | その他 | 11 | 1.07% |
| 計 | | 1,022 | 100.00% |



【高校生・特別支援学校】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-------------|-------|---------|
| 1 | 散策・自然観察 | 229 | 17.66% |
| 2 | 遊び(レジャー) | 519 | 40.02% |
| 3 | 健康(軽スポーツ) | 142 | 10.95% |
| 4 | スポーツ | 275 | 21.20% |
| 5 | 賑わい交流(イベント) | 91 | 7.01% |
| 6 | その他 | 41 | 3.16% |
| 計 | | 1,297 | 100.00% |



問2：中村緑地公園（河川敷）についてお伺いします。

あなたは、中村緑地公園にどのような施設があれば利用したいですか。※2つ選択

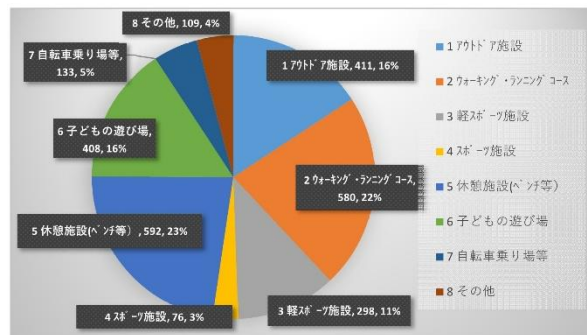
市民アンケートでは「休憩施設（ベンチ等）」が約23%で最も高く、次いで「ウォーキング・ランニングコース」が約22%で同程度に高くなっています。

年代別では、10代は「アウトドア施設」、「ウォーキング・ランニングコース」及び「休憩施設（ベンチ等）」の割合が高く、子育て世代の20代～40代ではこれらに加えて「子どもの遊び場」の割合が高くなっています。また、50代～70代は「ウォーキング・ランニングコース」及び「休憩施設（ベンチ等）」の割合が高くなっています。

学生アンケートでは「休憩施設（ベンチ等）」が約26%で最も高く、次いで「アウトドア施設」が約21%となっています。

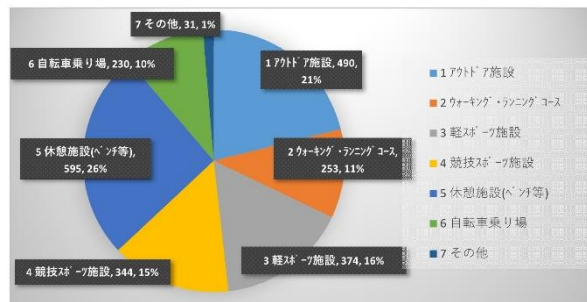
【18歳以上の市民】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-----------------|-------|---------|
| 1 | アウトドア施設 | 411 | 15.77% |
| 2 | ウォーキング・ランニングコース | 580 | 22.25% |
| 3 | 軽スポーツ施設 | 298 | 11.43% |
| 4 | スポーツ施設 | 76 | 2.91% |
| 5 | 休憩施設(ベンチ等) | 592 | 22.71% |
| 6 | 子どもの遊び場 | 408 | 15.65% |
| 7 | 自転車乗り場等 | 133 | 5.10% |
| 8 | その他 | 109 | 4.18% |
| 計 | | 2,607 | 100.00% |



【中学生・高校生】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-----------------|-------|---------|
| 1 | アウトドア施設 | 490 | 21.15% |
| 2 | ウォーキング・ランニングコース | 253 | 10.92% |
| 3 | 軽スポーツ施設 | 374 | 16.14% |
| 4 | 競技スポーツ施設 | 344 | 14.85% |
| 5 | 休憩施設(ベンチ等) | 595 | 25.68% |
| 6 | 自転車乗り場 | 230 | 9.93% |
| 7 | その他 | 31 | 1.33% |
| 計 | | 2,317 | 100.00% |

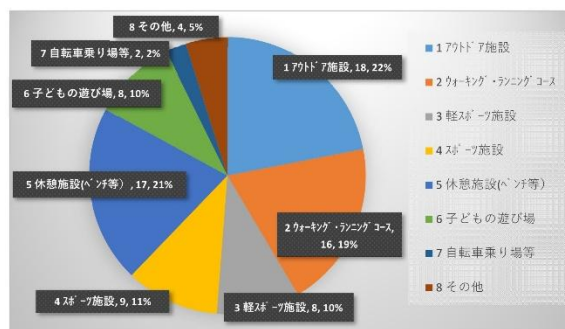


※学生アンケートでは“子どもの遊び場”を除いた7項目としました。

《年代別及び中学生・高校生別のアンケート結果》

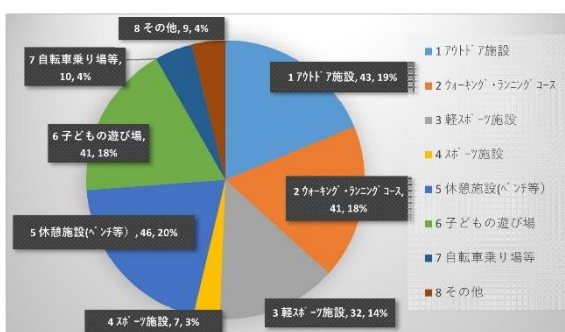
【10代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-----------------|-----|---------|
| 1 | アウトドア施設 | 18 | 21.95% |
| 2 | ウォーキング・ランニングコース | 16 | 19.51% |
| 3 | 軽スポーツ施設 | 8 | 9.76% |
| 4 | スポーツ施設 | 9 | 10.98% |
| 5 | 休憩施設(ベンチ等) | 17 | 20.73% |
| 6 | 子どもの遊び場 | 8 | 9.76% |
| 7 | 自転車乗り場等 | 2 | 2.44% |
| 8 | その他 | 4 | 4.87% |
| 計 | | 82 | 100.00% |



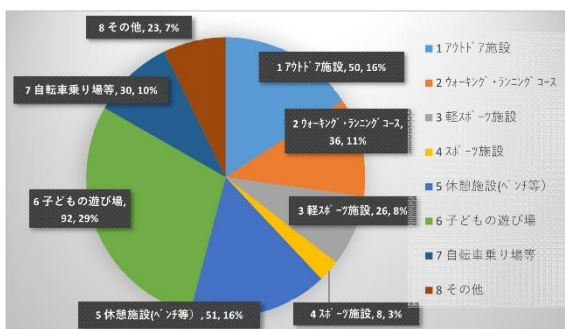
【20代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-----------------|-----|---------|
| 1 | アウトドア施設 | 43 | 18.78% |
| 2 | ウォーキング・ランニングコース | 41 | 17.90% |
| 3 | 軽スポーツ施設 | 32 | 13.97% |
| 4 | スポーツ施設 | 7 | 3.06% |
| 5 | 休憩施設(ベンチ等) | 46 | 20.09% |
| 6 | 子どもの遊び場 | 41 | 17.90% |
| 7 | 自転車乗り場等 | 10 | 4.37% |
| 8 | その他 | 9 | 3.93% |
| 計 | | 229 | 100.00% |



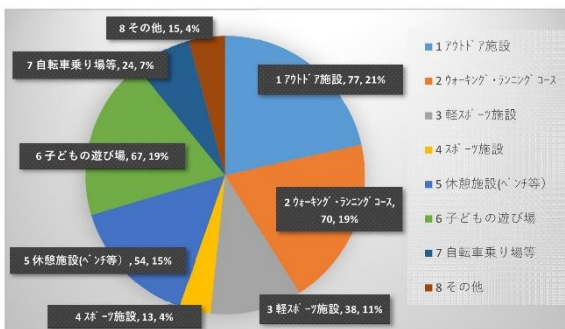
【30代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-----------------|-----|---------|
| 1 | アウトドア施設 | 50 | 15.82% |
| 2 | ウォーキング・ランニングコース | 36 | 11.39% |
| 3 | 軽スポーツ施設 | 26 | 8.23% |
| 4 | スポーツ施設 | 8 | 2.53% |
| 5 | 休憩施設(ベンチ等) | 51 | 16.14% |
| 6 | 子どもの遊び場 | 92 | 29.12% |
| 7 | 自転車乗り場等 | 30 | 9.49% |
| 8 | その他 | 23 | 7.28% |
| 計 | | 316 | 100.00% |



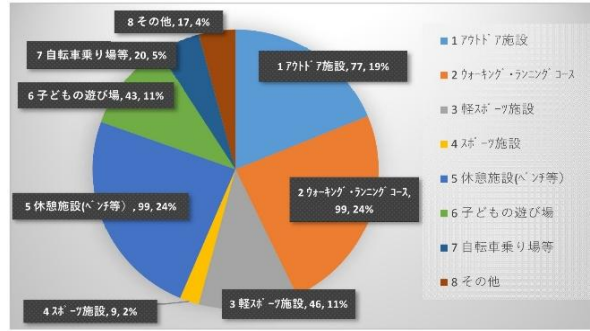
【40代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-----------------|-----|---------|
| 1 | アウトドア施設 | 77 | 21.51% |
| 2 | ウォーキング・ランニングコース | 70 | 19.55% |
| 3 | 軽スポーツ施設 | 38 | 10.61% |
| 4 | スポーツ施設 | 13 | 3.63% |
| 5 | 休憩施設(ベンチ等) | 54 | 15.08% |
| 6 | 子どもの遊び場 | 67 | 18.72% |
| 7 | 自転車乗り場等 | 24 | 6.71% |
| 8 | その他 | 15 | 4.19% |
| 計 | | 358 | 100.00% |



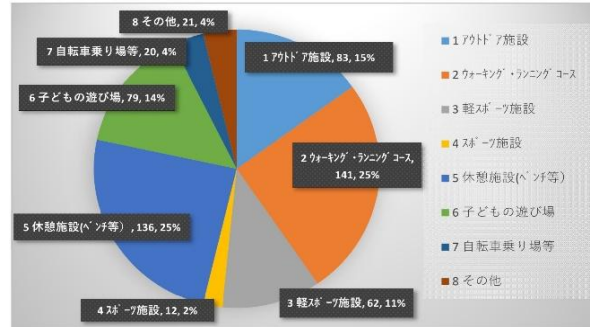
【50代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-----------------|-----|---------|
| 1 | アウトドア施設 | 77 | 18.78% |
| 2 | ウォーキング・ランニングコース | 99 | 24.15% |
| 3 | 軽スポーツ施設 | 46 | 11.22% |
| 4 | スポーツ施設 | 9 | 2.20% |
| 5 | 休憩施設(ベンチ等) | 99 | 24.15% |
| 6 | 子どもの遊び場 | 43 | 10.49% |
| 7 | 自転車乗り場等 | 20 | 4.87% |
| 8 | その他 | 17 | 4.14% |
| 計 | | 410 | 100.00% |



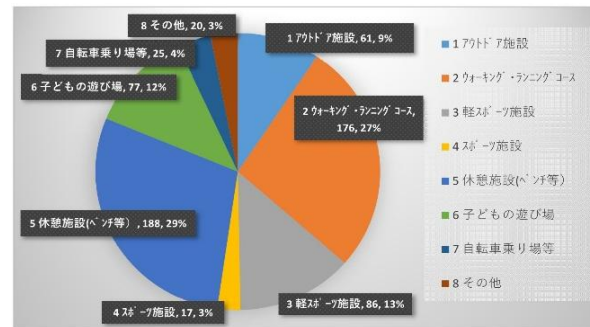
【60代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-----------------|-----|---------|
| 1 | アウトドア施設 | 83 | 14.98% |
| 2 | ウォーキング・ランニングコース | 141 | 25.45% |
| 3 | 軽スポーツ施設 | 62 | 11.19% |
| 4 | スポーツ施設 | 12 | 2.17% |
| 5 | 休憩施設(ベンチ等) | 136 | 24.55% |
| 6 | 子どもの遊び場 | 79 | 14.26% |
| 7 | 自転車乗り場等 | 20 | 3.61% |
| 8 | その他 | 21 | 3.79% |
| 計 | | 554 | 100.00% |



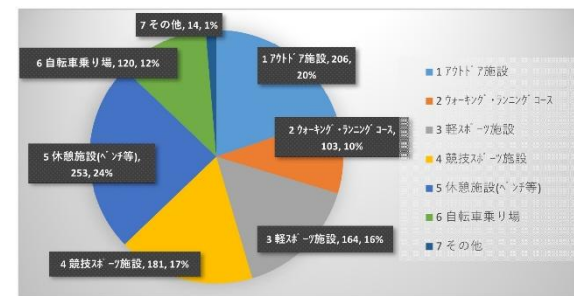
【70代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-----------------|-----|---------|
| 1 | アウトドア施設 | 61 | 9.38% |
| 2 | ウォーキング・ランニングコース | 176 | 27.08% |
| 3 | 軽スポーツ施設 | 86 | 13.23% |
| 4 | スポーツ施設 | 17 | 2.62% |
| 5 | 休憩施設(ベンチ等) | 188 | 28.92% |
| 6 | 子どもの遊び場 | 77 | 11.85% |
| 7 | 自転車乗り場等 | 25 | 3.85% |
| 8 | その他 | 20 | 3.07% |
| 計 | | 650 | 100.00% |



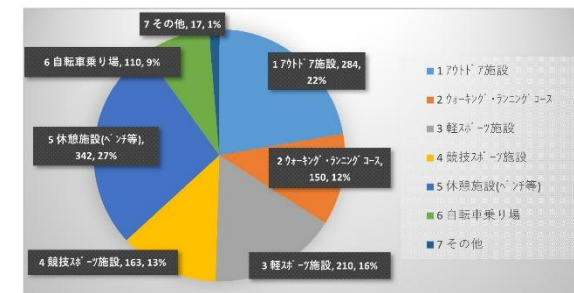
【中学生】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-----------------|-------|---------|
| 1 | アウトドア施設 | 206 | 19.79% |
| 2 | ウォーキング・ランニングコース | 103 | 9.89% |
| 3 | 軽スポーツ施設 | 164 | 15.75% |
| 4 | 競技スポーツ施設 | 181 | 17.39% |
| 5 | 休憩施設(ベンチ等) | 253 | 24.30% |
| 6 | 自転車乗り場 | 120 | 11.53% |
| 7 | その他 | 14 | 1.35% |
| 計 | | 1,041 | 100.00% |



【高校生】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|-----------------|-------|---------|
| 1 | アウトドア施設 | 284 | 22.26% |
| 2 | ウォーキング・ランニングコース | 150 | 11.76% |
| 3 | 軽スポーツ施設 | 210 | 16.46% |
| 4 | 競技スポーツ施設 | 163 | 12.77% |
| 5 | 休憩施設(ベンチ等) | 342 | 26.80% |
| 6 | 自転車乗り場 | 110 | 8.62% |
| 7 | その他 | 17 | 1.33% |
| 計 | | 1,276 | 100.00% |



問3：あなたは、どのようなスポーツ施設を利用したいですか。(問2で「軽スポーツ施設」「競技スポーツ施設」を選択した場合) ※1つ選択

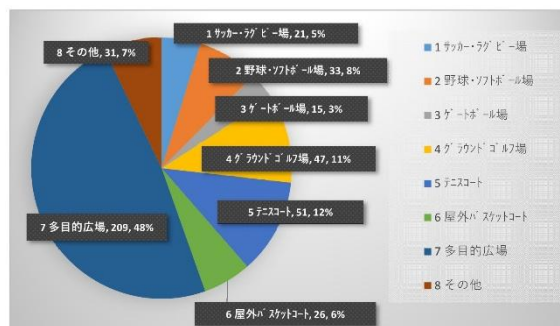
市民アンケートでは「多目的広場」が約48%で最も高く、次いで「テニスコート」が約12%となっています。

年代別でも全世代を通して「多目的広場」の割合が最も高くなっています。「多目的広場」を除く具体的なスポーツ施設としては、10代～50代は「テニスコート」の割合が比較的高く、60代～70代は「グラウンドゴルフ場」の割合が高くなっています。

学生アンケートでは「テニスコート」、「屋外バスケットコート」及び「多目的広場」が約22～23%で同程度に高く、次いで「サッカー・ラグビー場」及び「野球・ソフトボール場」が約11～12%で同程度に高くなっています。

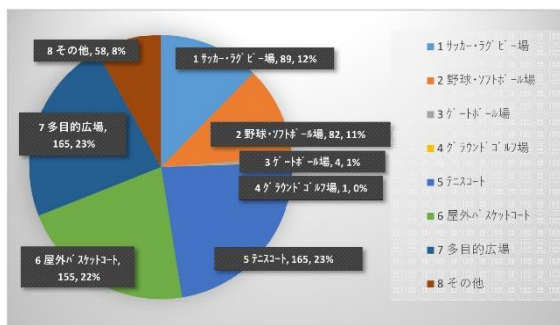
【18歳以上の市民】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|------------|-----|---------|
| 1 | サッカー・ラグビー場 | 21 | 4.85% |
| 2 | 野球・ソフトボール場 | 33 | 7.62% |
| 3 | ゲートボール場 | 15 | 3.46% |
| 4 | グラウンドゴルフ場 | 47 | 10.85% |
| 5 | テニスコート | 51 | 11.78% |
| 6 | 屋外バスケットコート | 26 | 6.01% |
| 7 | 多目的広場 | 209 | 48.27% |
| 8 | その他 | 31 | 7.16% |
| 計 | | 433 | 100.00% |



【中学生・高校生】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|------------|-----|---------|
| 1 | サッカー・ラグビー場 | 89 | 12.38% |
| 2 | 野球・ソフトボール場 | 82 | 11.40% |
| 3 | ゲートボール場 | 4 | 0.56% |
| 4 | グラウンドゴルフ場 | 1 | 0.14% |
| 5 | テニスコート | 165 | 22.95% |
| 6 | 屋外バスケットコート | 155 | 21.56% |
| 7 | 多目的広場 | 165 | 22.95% |
| 8 | その他 | 58 | 8.06% |
| 計 | | 719 | 100.00% |

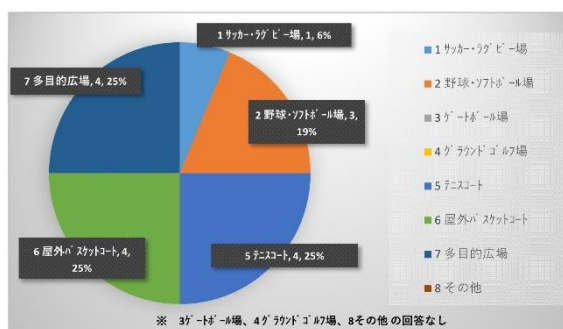


※“サッカー”と“ラグビー”、“野球”と“ソフトボール”は同一の施設を共用する場合があることから、類似競技として同一の項目にしました。

《年代別及び中学生・高校生別のアンケート結果》

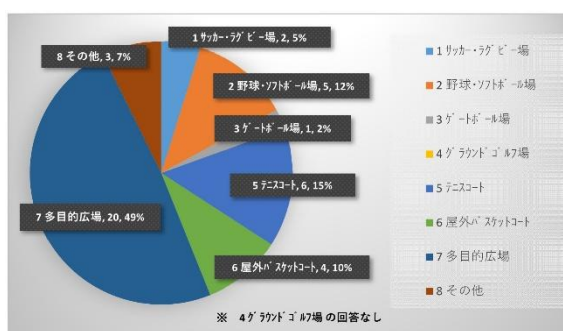
【10代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|------------|-----|---------|
| 1 | サッカー・ラグビー場 | 1 | 6.25% |
| 2 | 野球・ソフトボール場 | 3 | 18.75% |
| 3 | ゲートボール場 | 0 | 0.00% |
| 4 | グラウンドゴルフ場 | 0 | 0.00% |
| 5 | テニスコート | 4 | 25.00% |
| 6 | 屋外バスケコート | 4 | 25.00% |
| 7 | 多目的広場 | 4 | 25.00% |
| 8 | その他 | 0 | 0.00% |
| 計 | | 16 | 100.00% |



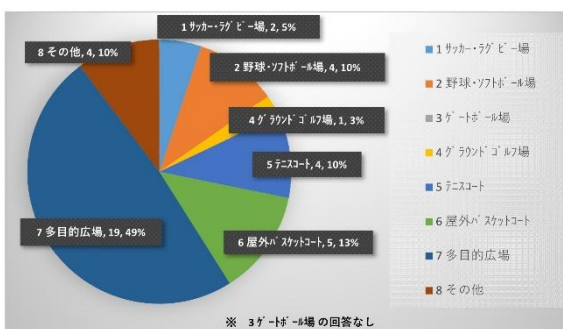
【20代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|------------|-----|---------|
| 1 | サッカー・ラグビー場 | 2 | 4.88% |
| 2 | 野球・ソフトボール場 | 5 | 12.20% |
| 3 | ゲートボール場 | 1 | 2.44% |
| 4 | グラウンドゴルフ場 | 0 | 0.00% |
| 5 | テニスコート | 6 | 14.63% |
| 6 | 屋外バスケコート | 4 | 9.76% |
| 7 | 多目的広場 | 20 | 48.78% |
| 8 | その他 | 3 | 7.31% |
| 計 | | 41 | 100.00% |



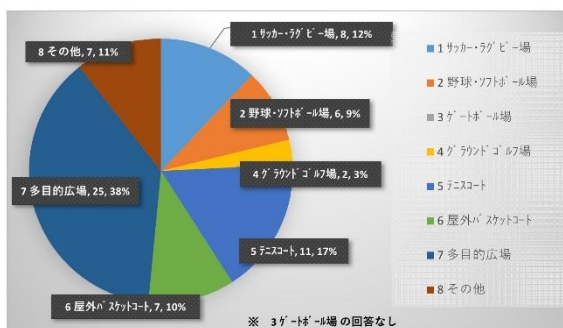
【30代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|------------|-----|---------|
| 1 | サッカー・ラグビー場 | 2 | 5.13% |
| 2 | 野球・ソフトボール場 | 4 | 10.26% |
| 3 | ゲートボール場 | 0 | 0.00% |
| 4 | グラウンドゴルフ場 | 1 | 2.56% |
| 5 | テニスコート | 4 | 10.26% |
| 6 | 屋外バスケコート | 5 | 12.82% |
| 7 | 多目的広場 | 19 | 48.72% |
| 8 | その他 | 4 | 10.25% |
| 計 | | 39 | 100.00% |



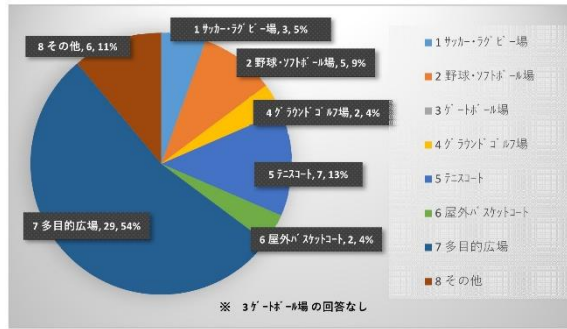
【40代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|------------|-----|---------|
| 1 | サッカー・ラグビー場 | 8 | 12.12% |
| 2 | 野球・ソフトボール場 | 6 | 9.09% |
| 3 | ゲートボール場 | 0 | 0.00% |
| 4 | グラウンドゴルフ場 | 2 | 3.03% |
| 5 | テニスコート | 11 | 16.67% |
| 6 | 屋外バスケコート | 7 | 10.61% |
| 7 | 多目的広場 | 25 | 37.88% |
| 8 | その他 | 7 | 10.60% |
| 計 | | 66 | 100.00% |



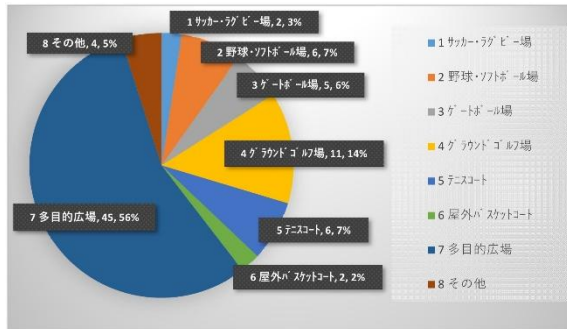
【50代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|------------|-----|---------|
| 1 | サッカー・ラグビー場 | 3 | 5.56% |
| 2 | 野球・ソフトボール場 | 5 | 9.26% |
| 3 | ゲートボール場 | 0 | 0.00% |
| 4 | グラウンドゴルフ場 | 2 | 3.70% |
| 5 | テニスコート | 7 | 12.96% |
| 6 | 屋外バスケコート | 2 | 3.70% |
| 7 | 多目的広場 | 29 | 53.71% |
| 8 | その他 | 6 | 11.11% |
| 計 | | 54 | 100.00% |



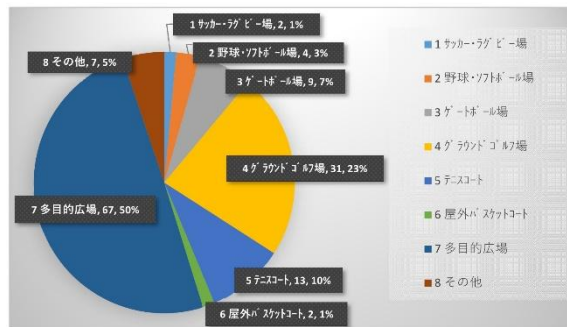
【60代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|------------|-----|---------|
| 1 | サッカー・ラグビー場 | 2 | 2.47% |
| 2 | 野球・ソフトボール場 | 6 | 7.41% |
| 3 | ゲートボール場 | 5 | 6.17% |
| 4 | グラウンドゴルフ場 | 11 | 13.58% |
| 5 | テニスコート | 6 | 7.41% |
| 6 | 屋外バスケコート | 2 | 2.47% |
| 7 | 多目的広場 | 45 | 55.56% |
| 8 | その他 | 4 | 4.93% |
| 計 | | 81 | 100.00% |



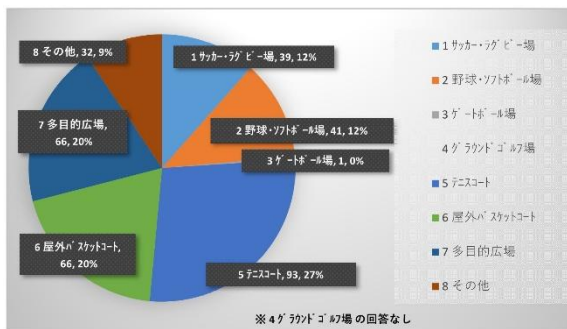
【70代】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|------------|-----|---------|
| 1 | サッカー・ラグビー場 | 2 | 1.48% |
| 2 | 野球・ソフトボール場 | 4 | 2.96% |
| 3 | ゲートボール場 | 9 | 6.67% |
| 4 | グラウンドゴルフ場 | 31 | 22.96% |
| 5 | テニスコート | 13 | 9.63% |
| 6 | 屋外バスケコート | 2 | 1.48% |
| 7 | 多目的広場 | 67 | 49.63% |
| 8 | その他 | 7 | 5.19% |
| 計 | | 135 | 100.00% |



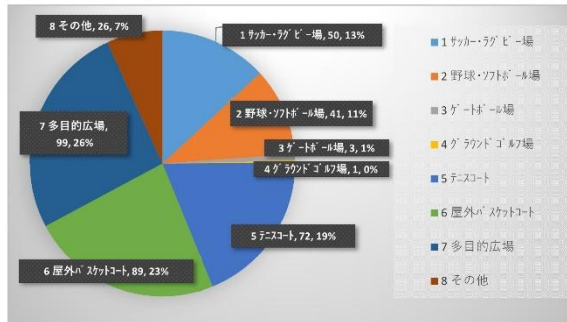
【中学生】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|------------|-----|---------|
| 1 | サッカー・ラグビー場 | 39 | 11.54% |
| 2 | 野球・ソフトボール場 | 41 | 12.13% |
| 3 | ゲートボール場 | 1 | 0.30% |
| 4 | グラウンドゴルフ場 | 0 | 0.00% |
| 5 | テニスコート | 93 | 27.51% |
| 6 | 屋外バスケコート | 66 | 19.53% |
| 7 | 多目的広場 | 66 | 19.53% |
| 8 | その他 | 32 | 9.46% |
| 計 | | 338 | 100.00% |



【高校生】

| NO. | 回答項目 | 延べ数 | 割合(%) |
|-----|------------|-----|---------|
| 1 | サッカー・ラグビー場 | 50 | 13.12% |
| 2 | 野球・ソフトボール場 | 41 | 10.76% |
| 3 | ゲートボール場 | 3 | 0.79% |
| 4 | グラウンドゴルフ場 | 1 | 0.26% |
| 5 | テニスコート | 72 | 18.90% |
| 6 | 屋外バスケコート | 89 | 23.36% |
| 7 | 多目的広場 | 99 | 25.98% |
| 8 | その他 | 26 | 6.83% |
| 計 | | 381 | 100.00% |



(2) 外部団体との意見交換

様々な分野の意見を聴取するため外部団体との意見交換会を開催し、整備計画で定めたゾーニング計画、市民・学生アンケート及びスポーツ競技団体からの要望を踏まえて作成した素案に対する意見交換を行いました。

ア 協力団体

福祉、スポーツ、子育て及びまちづくり等に関わる市内の団体並びに地元自治会、土地利用組合（地権者）等（全15団体）

イ 実施回数

全3回（令和4年8月、令和4年11月、令和5年3月）

ウ 主な意見

うきうきふれあいゾーン

- 一般的な公園にはない特徴のある複合遊具があると良い。
- 子どもが水遊びの出来る場所があると良い。
- 親水施設を設ける場合は、設置形態に合わせて安全対策が必要。
- 自転車を練習するちょうど良い場所がないので、練習する場所が出来るのは良い。
- バーベキュー広場への炊事場（洗い場）の設置が必要。
- 用具の貸出しをするなど、手ぶらでバーベキューが出来ると良い。

ゆうゆう安らぎゾーン

- 売店や授乳室など、子どもが不自由なく遊んでいけるような施設にしてもらいたい。
- サイクリングロードからも分かり易いよう案内看板を設置し、サイクリングロード利用者にも使いやすい施設にしてほしい。
- 障害を持つ人も使いやすい多目的トイレの設置が必要。

ぐんぐんスポーツゾーン

- 広い敷地を活かしたスポーツ施設となり、多くの競技大会ができるのは良い。
- 近年人気のあるストリートバスケットやスケートボードが楽しめる場所があると若い世代にも利用してもらえと思う。
- スポーツ施設は整備費用が大きくなることが予想されるので、必要性や需要に応じて段階的に整備していくのが良い。
- 人口減少を考えて、類似施設との統合も含めて計画を進めていく必要がある。

いきいき健康ゾーン

- 個人の健康意識が高まっているので、ウォーキング・ランニングコースの利用は多いと思う。
- 一般的な公園では犬の散歩を禁止するところが多いので、犬の散歩を可能にしてほしい。また、広い敷地を活用したドッグランを設置してほしい。
- 取水路があることから他のゾーンに比べて増水時のリスクが高いため、公園全体の整備費用を考えると最低限の園路整備だけでも良い。

共通事項

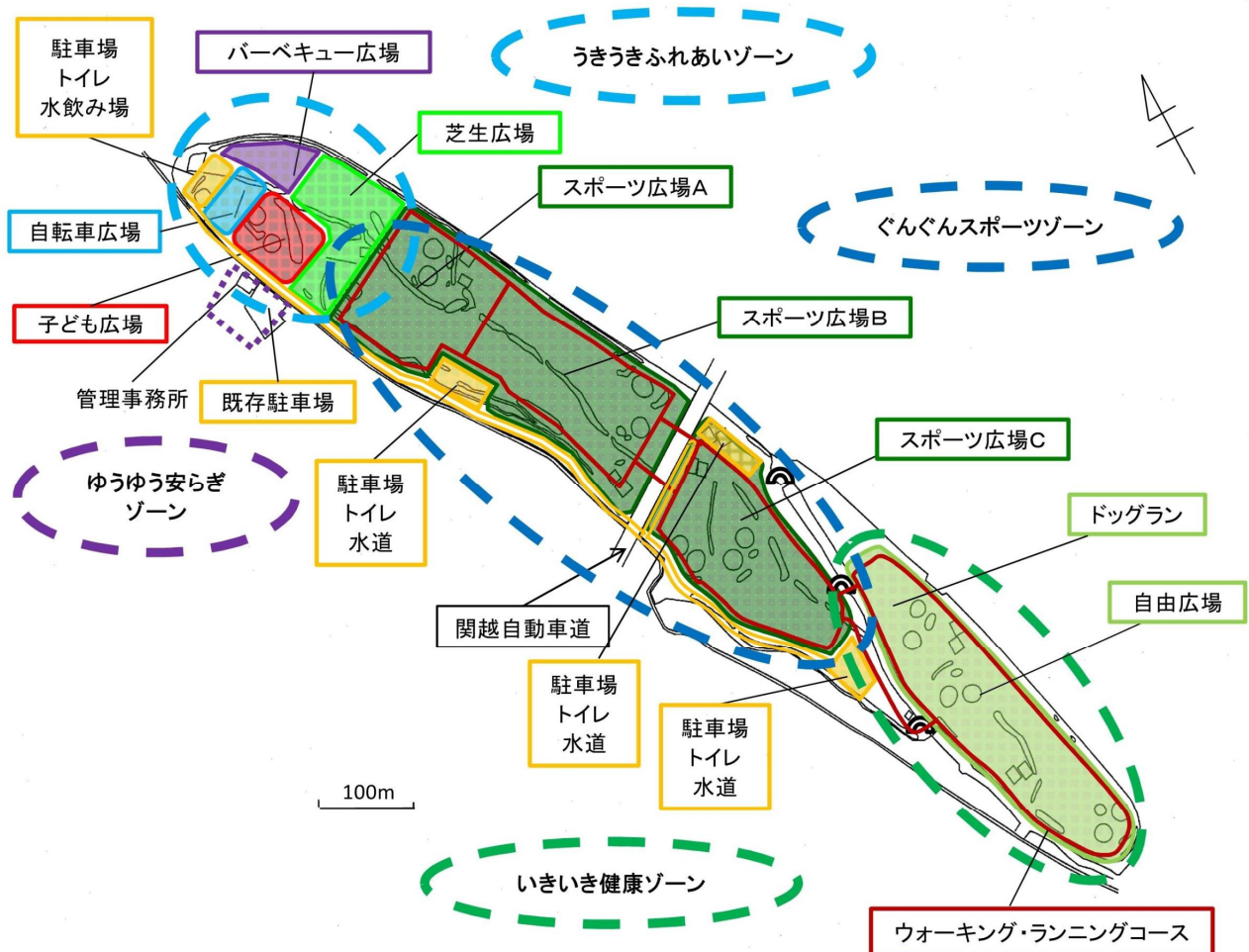
- 車いすの人が散策するためにも、園路は舗装してほしい。
- ベンチや日陰（木陰）が多くあると良い。
- 広大な敷地であることを考慮し、一般の公園では禁止となっているキャッチボール等も行えるようにしてほしい。
- 監視カメラや放送設備、雷発生時の避難所等、利用者の安全に配慮した設備の設置が必要。
- 広大な敷地であるため、全体を整備範囲とすると整備費用や維持費用が掛かりすぎると思う。まずは範囲や内容を絞って整備し、今後のニーズに合わせて整備範囲を拡大していくことが望ましい。



意見交換会 実施状況

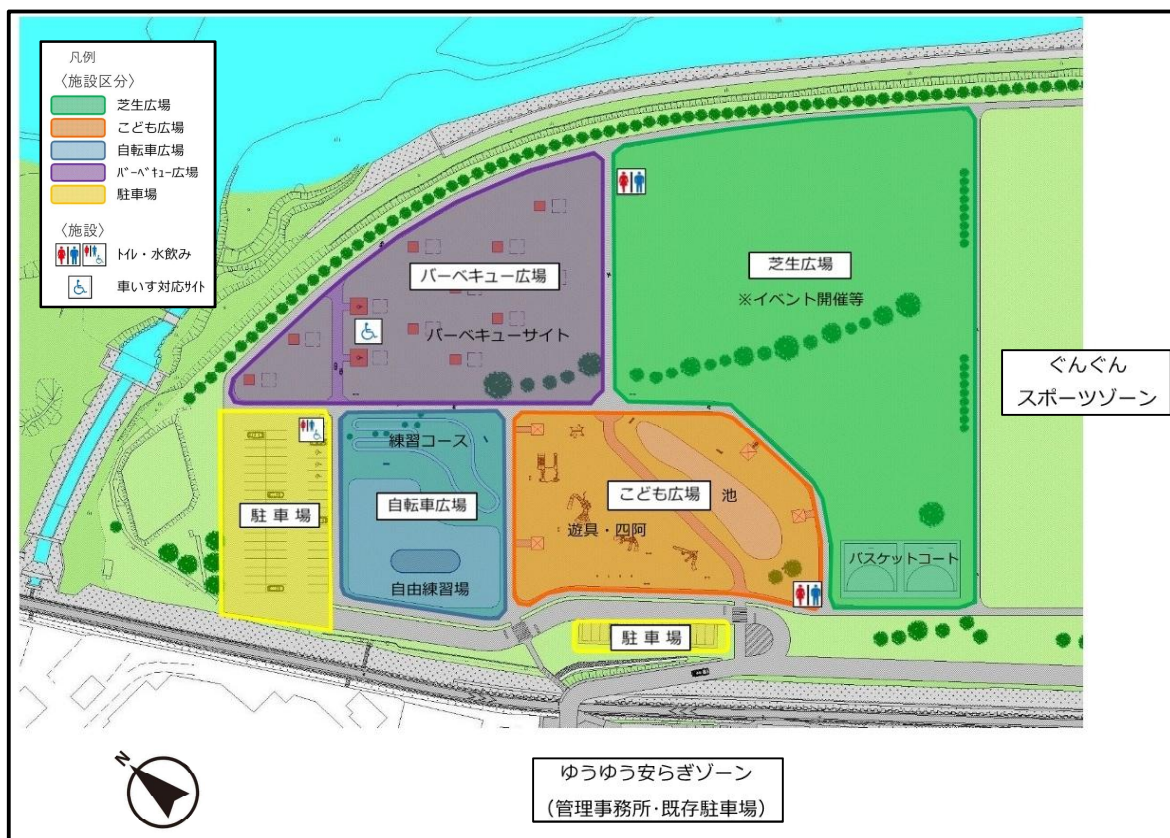
2 施設整備案の検討

市民・学生アンケート及び外部団体との意見交換の結果を踏まえ、次のとおり施設整備案の検討を行いました。この施設整備案は、整備計画で示しているゾーン計画及び導入施設配置の方向性を踏襲したものです。



(1) うきうきふれあいゾーン

管理事務所北側の進入路から最も近く、中村緑地公園の玄関口となるゾーンです。園内施設の機能を補完する公園管理施設（ゆうゆう安らぎゾーン）に隣接していることから、幼児・高齢者・身体障害者なども利用しやすいゾーンとして、多世代・多様な利用を想定した施設配置となっています。



| 施設区分 | 施設概要（整備イメージ） |
|--------------|---|
| 芝生広場 | 緩やかな地形を残したまま、イベント利用等を想定する芝生の広場。 騒音等の問題により設置が敬遠されているストリートバスケット用のコート を配置している。 |
| こども広場 | 現地形を活かした遊具や休憩施設（ベンチ、四阿など）を配置することにより、 子どもを連れた家族などが利用しやすい空間を提供する広場。 |
| 自転車広場 | 未就学児や小学校低学年児童などが、起伏のない平坦な練習場や緩やかな傾 斜のある練習コースで気軽に自転車練習などを行うための広場。 |
| バーベキュー 広場 | 夏場を中心としたバーベキュー利用やデイキャンプを行うためのテント設営 スペースを確保した広場。 |

(2) ゆうゆう安らぎゾーン

公園内で唯一河川区域外に位置しており、管理事務所（旧クラブハウス）などの管理施設を有するゾーンです。

管理事務所の改修に加えて、管理用倉庫及び公園全体のインフラ（水道・電気等）に関する設備等の整備を想定しています。



| 施設区分 | 施設概要（整備イメージ） | |
|-------|--|--|
| 管理事務所 | 売店 | 子どもが園内で遊ぶ玩具、菓子・軽食、バーベキューの際に使用する消耗品類の販売を想定した施設。 |
| | 更衣室 | コインロッカー、おむつ替え・授乳スペース等を配置したスペース。 |
| | 休憩室 | 公園利用者が休憩や飲食などができるスペース。 |
| | トイレ | ベビーチェア、オストメイト対応設備、ユニバーサルベッド等を備えることで、誰もが安心して利用できるトイレ施設。 |
| 倉庫 | 維持管理用備品（芝刈機、農機具等）や園内貸出し用物品（バーベキュー関係等）を収納することを想定した施設。 | |

(3) ぐんぐんスポーツゾーン

中村緑地公園の中央に位置し、園内に占める面積が最も広いゾーンです。

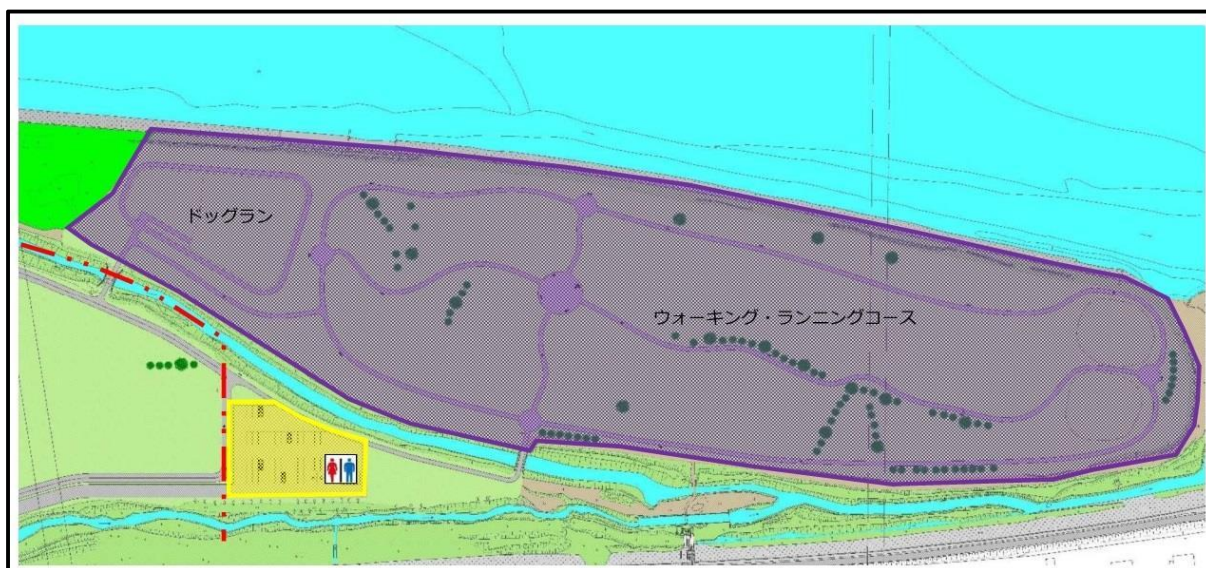
スポーツ広場は特定競技の専用施設ではなくイベント利用等も想定されますが、各種スポーツの競技施設としての利用が主体になると考えられるため、施設整備の際は各競技に対応した全面的な造成（勾配修正等）や芝の張替え工事などが不可欠となります。



| 施設区分 | 施設概要（整備イメージ） |
|--------|---|
| スポーツ広場 | <p>関越自動車道の南北に平坦な広場を整備し、サッカーや野球などの競技スポーツから、スケートボードなどの多様な運動種目に対応することを想定。スポーツ利用だけでなく、北側に隣接する芝生広場と連携したイベント会場としての利用や、利用のない時間帯は散策やレクリエーションを楽しむ場として開放する。</p> |

(4) いきいき健康ゾーン

中村緑地公園の南端に位置し、利根川と工場用取水路に挟まれた形状の土地であることから、水の流れを身近に感じることができる景観に優れたゾーンです。地形的な特徴から大規模な造成やインフラ施設の整備に制約があるため、既存地形を活かした周遊施設等を配置しています。



| 施設区分 | 施設概要（整備イメージ） |
|-----------------|---|
| ウォーキング・ランニングコース | ゴルフ場時代のグリーンやコース境界樹木沿いを通る周遊園路を設け、ウォーキング及びランニングを行うコースとして利用する。また、園路及びゾーン内の芝生地はリード（引き綱）を付けた犬の散歩を可とする。 |
| ドッグラン | リード（引き綱）を外して犬を自由に運動させることのできる施設。小型犬用、中・大型犬用など、大きさによって利用区分を設けることを想定した施設。 |

3 整備費用の試算

施設整備案に基づいた園内整備を行う場合に要する費用は下表のとおりです。これは現時点での試算金額を示したものであり、今後の社会情勢（物価上昇等）などの諸条件によって変動します。

ゾーンごとの事業費（試算）

| ゾーン名 | 事業費試算額 | 主な工事内容 |
|-------------|----------|---|
| うきうきふれあいゾーン | 3. 1 億円 | 敷地造成工、給排水設備工、園路広場整備工、舗装工、遊戯施設工、休憩施設工、管理施設工 |
| ゆうゆう安らぎゾーン | 1. 2 億円 | 事務所改修工、給排水設備工、電気設備工、空調設備工、倉庫設置工 |
| ぐんぐんスポーツゾーン | 17. 3 億円 | 敷地造成工、給排水設備工、園路広場整備工、グラウンド・コート施設工、舗装工、休憩施設工、管理施設工 |
| いきいき健康ゾーン | 2. 1 億円 | 園路広場整備工、舗装工、休憩施設工、管理施設工 |
| 合計 | 23. 7 億円 | |

4 課題の整理

前述した施設整備案は、中村緑地公園整備事業を開始した当初の理念及び利用者である市民の意見を考慮した上で検討を行ったものですが、これに基づいた整備には多くの費用と時間を要することから、現状では、早期の整備実現は難しいと判断せざるを得ない状況にあります。

公園を含む公共施設の多くは老朽化が進み、施設の更新や長寿命化が重要課題となる中、近年では建設資材や燃料価格の高騰及び建設業界の人手不足に起因する人件費増加によって生じた工事費用の増大が全国的な問題となっており、本市も例外ではありません。

この現状を鑑み、本事業の今後のあり方を考える上での課題を次のとおり整理します。

(1) 公園を取り巻く現状

昨今、公共施設の老朽化や人口減少に伴う施設利用率の低下などが全国的な問題となる中、本市の公園においても老朽化に起因する維持管理コストの上昇などの問題が顕在化し、長寿命化等の対応が重要課題となっています。

公園を構成する要素のうち、維持管理コストや利用者の有益性に大きな影響を与える主な要素として、遊具や休養施設（トイレ、ベンチ、四阿等）が挙げられます。

遊具については、国の指針等に基づいた点検を定期的を実施していますが、設置から相当の年数が経過していることから、腐食や部品の欠落をはじめとする損傷が数多く発生し、中には重度の破損により使用不可と判定される事例も生じています。このような事例では、修繕により可能な限り使用を継続させる措置を取っていますが、大規模な部品交換を要するケース、耐力構造に影響が生じる損傷や安全確保が困難な損傷により撤去・更新を実施するケースもあり、現状を維持するだけでも多額の費用を要する状況にあります。

休養施設についても、遊具と同じく老朽化が進んでいると共に、利用者のライフスタイルの変化

に伴う改修（トイレの洋式化やバリアフリー化等）が求められていることから、遊具と同じく改修費用が増大する傾向にあり、現在までに必要な改修が実施できている施設は一部にとどまります。公園の主要要素である遊具及び休養施設の老朽化や改修要望に対し、公園管理者として今後どのような方針を定め持続可能な施設としていくかが、これからの公



〈使用不可となった遊具の例〉
沼尾川親水公園 複合遊具
※令和5年度撤去



〈劣化が進む休養施設の例〉
天板が腐朽している
木製のテーブル・ベンチ

園施設運営における重要課題となります。

また、施設の老朽化による維持管理コストの上昇と同様に、人口減少等に伴う施設利用率の低下も今後の公園のあり方を考える上で重要な問題といえます。

公園は利用者に憩いや遊び、スポーツ・健康活動など、様々な価値を与える施設ですが、建設時から長い年月が経過した現代社会においては、公園の利用状況に様々な変化が見受けられます。

利用率低下の要因としては、少子高齢化による人口減少や地方から都市部への人口流出のほか、ライフスタイルの変化によって生じた屋外活動の減少なども考えられ、今後は、このような時代の流れに合わせた施設再編が必要不可欠です。

公園を含む公共施設は施設機能の維持が求められる傾向にあるため、保有する機能の縮小や廃止は容易ではありませんが、利用状況の把握や必要な施設機能の整理を適切に行った上で、施設廃止を含む公園の再編に取り組む時代が到来しているといえます。

(2) 同種・類似施設に係る機能集約の必要性

本市では、拡散型都市構造から集約型都市構造への転換を目指して令和3年11月に「渋川市立地適正化計画」を策定しています。公園は立地適正化計画における誘導施設に含まれていませんが、集約型都市構造への転換を前提とした場合、公園も施設機能を集約し、都市経営コストの縮減に寄与することが求められます。

中村緑地公園と周辺施設との関連では、周辺に位置する大崎緑地公園、坂東橋緑地公園、利根川河川敷公園などが保有する機能を考慮した上で、施設間の機能集約や差別化を図る必要があると考えます。特に、敷地北側に隣接する大崎緑地公園は、当公園の前身である渋川市民ゴルフ場を含めた地域一帯を「運動施設区域」に位置づけ、当該区域を市民の健康維持やスポーツ交流の場とする目的をもって整備された公園であることから、中村緑地公園の利活用を検討していく上では、当初の整備目的を踏まえることを前提に、大崎緑地公園の施設機能を中村緑地公園に集約していくことが望ましいといえます。

また、人口減少に伴う将来的な施設利用率の低下を考慮すると、周辺地域以外でも施設機能を集約する必要性が高まっていくことが予測されます。市有公園の中には、住宅団地造成等に伴い設置された公園があり、その多くは昭和終期から平成中期にかけて建設された公園です。これらの公園では、周辺住民の高齢化等の要因によって、公園建設時とは利用状況に変化が生じているケースが見受けられます。特に遊具については、利用者である子どもの成長に伴って使用頻度が減少する傾向にあります。遊具の基準改定により、既存遊具が現行の安全基準に適合していない状況も発生しています。この状況に対しては、定期的な遊具点検や安全措置により現在も使用を継続できるよう対応していますが、老朽

化に伴う維持管理コストの上昇や予見困難な事故の発生リスク等を考慮した場合、利用状況や必要性を適切に把握した上で、将来的には撤去を含めた対応の検討が必要になります。



このほか、市街地等において小規模で機能が似通った公園が近接しているケースや、逆に、代替施設がなく地区の基幹公園となっているケースなど、公園ごとの特性を踏まえた上で諸条件を精査し、施設機能の集約（補完）の可否や改修の要否を判断していくことも重要です。具体的に集約する対象施設などの詳細については未定ですが、今後は公園を主体として同種・類似の機能を持つ他施設（スポーツ・観光施設等）を含めた集約について一定の方針を定め、適切に対応していくことが求められます。

中村緑地公園を含めた公園の改修・整備を進めるにあたっては、利用状況や市民意向の確認など様々な方面から必要な検討を行い、本市の公園全体における施設機能の規模の適正化を図る必要があります。

なお、統廃合を含む公園の施設再編が進み、公園としての土地利用が不要となった場合においては、当該土地を普通財産として貸付けまたは売却するなど、維持管理費の削減を図ることが望ましいと考えます。

Ⅲ 事業方針

今後の事業方針

近年、経年劣化が進む市内の公園施設については、施設機能を維持するための修繕や老朽化に伴う施設更新のほか、機能改善（照明のLED化等）を目的とした改修も求められています。しかし、現状では財源面の問題もあり、迅速に対応できる状況にありません。

また、本市ではJR渋川駅・八木原駅を公共交通軸とした駅周辺地区の都市再生整備をはじめとした大型事業に取り組んでおり、今後はこれらの事業に加え、道路等のインフラや公共施設の長寿命化を目的とした改修事業等についても多額の費用が必要になることが予測されます。

このような状況の中、中村緑地公園の施設機能を大きく変化（拡充）させる本事業は市財政に与える影響も大きいと考えられることから、今後の事業の進め方を十分に精査していくことが重要です。これらを考慮し、中村緑地公園における今後の事業方針について、次のとおり整理します。

（１） 大規模施設整備の見送り

これまで中村緑地公園では、整備計画に基づいたスポーツ広場等の整備を視野に整備事業を進めてきました。市内スポーツ競技団体からは、広域大会に対応したサッカーグラウンドやソフトボール場等の整備要望もありましたが、これらの整備には広範囲にわたる敷地造成（勾配修正、芝の張替え等）が不可欠であり、現状では市財政に与える影響が大きいと判断されます。このことから、他の大型事業や老朽施設の更新（長寿命化）とのバランス、人口減少下での施設需要を見極める必要性などを考慮し、整備費用が多額となる大規模施設整備は当面見送るものとします。

今後については、後述する社会実験の効果を検証しながら、施設運営上必要な施設（社会実験から本格運用に移行する施設、トイレ等のインフラ設備、駐車場等）を適時整備していきます。

なお、未施工となっている関越自動車道橋梁下進入路についても当面は整備工事を見送るものとし、将来的に園内の利活用が進んだ場合、整備の必要性を改めて検討します。

(2) 社会実験の実施

施設整備案に挙がっている施設の一部について、地域ニーズへの対応を試行的に検証することにより、中村緑地公園の利活用の可能性を探ることを目的とする社会実験を令和8年度から順次実施していくものとします。

園内は河川区域であり、恒常的な工作物の設置には構造等に制約があるため、簡易的な設備により試験運用が可能な施設を対象とします。実施範囲は一般開放している関越自動車道から北側のエリアを基本としますが、立入禁止としている南側のエリアについても、一般開放に向けた施設導入等を検討し、有用な利活用案がある場合は積極的に社会実験を実施していきます。

この社会実験では、試験運用する施設ごとに概ね3年間で試行期間とし、期間内の利用者数、利用満足度、代替性及び財政面への負担等を総合的に評価するものとします。評価の結果、正式な施設として本格運用に移行する場合は、整備規模や財政負担等を考慮した上で必要な施設を整備していきます。

なお、社会実験の対象として現在予定している施設は次のとおりです。

ア ドッグラン

公共空間の中で犬を自由に遊ばせることのできる施設は少なく、近年は郊外を中心にドッグランを設置する施設が増えています。特に、広大な敷地を有する河川敷の公園は必要なスペースを確保しやすく、他自治体ではドッグランの導入や導入に向けた社会実験を行っている事例が多数見受けられます。

本市では、動物を好まない利用者や糞尿処理等のマナー違反を危惧する周辺住民等への配慮から犬の立入りを事実上禁止している公園が多く、犬を連れて気軽に公園を利用できる環境がありません。このため、犬の散歩ができる公園やノーリードで犬を遊ばせることのできるドッグランの整備需要は高く、社会実験を行うことによって、当該施設に対する利用者需要、維持管理上の課題等について確認することができます。

イ バーベキュー及びキャンプスペース

広大な敷地を有する河川敷公園と親和性の高い施設として、バーベキュー場やキャンプ場が挙げられます。これらの施設については市内他公園にも整備事例がありますが、中村緑地公園には景観や交通アクセスの面で他施設にない魅力があり、新たな需要を創出する可能性があると考えます。また、前述したドッグランは、バーベキュー場やキャンプ場に併設される事例も多いことから、施設連携によって他公園との差別化を図ることができる点も利点となります。

(3) 官民連携手法を活用した整備・運営の検討

これまでの公園整備・運営手法の多くは、公的団体が自ら整備・運営を行う“公設公営方式”が主流となっていました。しかしながら、少子高齢化や若年層の都市部への流出に起因する人口減少が進むにつれて地方公共団体の財政負担が大きくなり、財政資金の効率的な使用や行政サービスの効率化を図る“官民連携（PPP）”手法を導入する事例が全国的に広がっています。

本市でも、官民連携手法の一つである指定管理者制度（公設民営方式）により、公園を含む公共施設の管理・運営の効率化を図っていますが、今後ますます公共施設の老朽化が進み長寿命化対策等の維持管理費用が増大していくことを考慮すると、更なる官民連携手法の導入について検討していく必要があります。

近年、各種法令の改正に伴って官民連携手法の適用条件が緩和され、“民設民営方式”のPFI事業や公募設置管理制度（Park-PFI）を活用する公園が増加しています。このほか、民間事業者が売店やカフェ等の収益施設を設置することを認める設置管理許可制度や、資金調達を公共が行った上で施設の設計・施工・維持管理を一括して発注するDBO（Design Build Operate）方式等も官民連携手法として挙げられ、これらとPFI事業等を合わせて活用する事例も出てきています。

また、河川空間においては、平成23年に河川敷地占用許可準則が改正されたことにより、原則として公的主体（地方公共団体等）にのみ認められていた河川敷地の占用が、一定の要件を満たす場合に民間事業者にも認められるようになりました（“河川空間のオープン化”）。この改正により、民間事業者も河川敷地に収益施設を設置して営業活動を行うことが可能になったことから、他自治体では民設民営のカフェやバーベキュー場等の施設が整備されています。

中村緑地公園においても、これら官民連携手法の導入による施設設置の実現や財政負担の軽減を目指し、民間の資金及び創意工夫による施設の魅力向上に向けたサウンディング（民間事業者との対話）型市場調査の実施を検討します。

サウンディング型市場調査の対象となる中村緑地公園の活用方法は、前述した整備案の内容に限定したものとせず、民間事業者が持つ柔軟で幅広い知識・意見や事業提案を様々な視点から効果的に引き出すことができるよう努めます。また、サウンディング型市場調査の実施過程では、提案されるアイデアに対し、一定の期間を設けて実際に施設を利用してもらうことにより事業採算性や利用者ニーズ、施設課題などを検証する手法である“トライアル・サウンディング”の実施も視野に入れるものとします。

今後の中村緑地公園の整備・運営を検討するにあたっては、こうした官民連携手法を候補にしつつ、サウンディング型市場調査を通じて、実現性と事業採算性等を検証した上で、適切な手法を選定していきます。

(4) 公園の配置・機能の再編（統廃合・再整備）に向けた整理・検討

中村緑地公園の公園規模や園内整備を進めた場合に与える財政面への影響を考慮すると、当公園の整備は、単純な個別施設の公園改修事業としてではなく、本市の公園全体の将来を見据えた上で実施される総合的な事業として捉えるべきです。

都市公園等における公共ストックの適正化とインフラ老朽化対策の推進は、これからの公園行政で最も重要視される事項ですが、他自治体では、国土交通省が作成した「都市公園のストック効果向上に向けた手引き（平成28（2016）年）」に沿って都市公園等の機能分類を行い、公園の配置・機能の再編方針を定める事例が増えています。

本市においても、今後ますます厳しくなる少子高齢化社会に向けて持続可能な公園づくりに取り組む必要があることから、中村緑地公園を含む全ての公園が将来にわたって「使われ活きる公園」となるよう、次に示す事項を踏まえた上で公園再編の方針策定に向けて取り組んでいきます。

なお、当方針は中村緑地公園の今後の敷地利活用に関する基本的な方向性を定めるものであるため、市有公園全体の配置・機能の再編に関する具体的な方針は、別途検討する公園再編方針の中で定めるものとします。

ア 量から質への転換

市内には公園が84箇所（都市公園41箇所、その他公園43箇所）あり、公園面積は合計で173.86ha（都市公園137.34ha、その他公園36.52ha）となっています。また、市民一人当たりの公園面積に換算すると、都市公園のみで19.27㎡/人、その他公園を含めると24.39㎡/人（令和7年（2025年）12月現在）であり、都市公園法施行令で定める住民一人当たりの都市公園の敷地面積の目安となる10㎡を大きく上回っています。本市の人口は1995年をピークに減少傾向にあり、市民一人当たりの公園面積は更に増加していく見込みであることを考慮すると、公園の「量」については一定程度の充実が図られているといえます。

その一方、公園の多くが整備から30年以上経過し施設の老朽化が進む中で、経年劣化によって遊具やベンチ等の施設が使用できなくなるケースや、近接した区域に似たような公園（機能が重複した公園）が密集し、施設機能の需給ギャップが生じているケースなどが見受けられます。このような現状に対しては、従来のように部分修繕や施設更新による定量的な維持管理を行うだけでなく、公園の施設機能を整理し、市民ニーズに応じて既存機能を拡充したり、新しい施設（例：3×3バスケットボールコートやスケートボードパーク等のアーバンスポーツ施設、ドッグラン等）を配置したりするなど、公園の「質」を高めていく対応が求められます。

イ 選択と集中による再編

遊具や休養施設等の老朽化や園内樹木の繁茂などによって、公園の日常管理や修繕に関する財政負担は年々大きくなっており、今後更に負担が増していくことが見込まれます。渋川市立地適正化計画で示す集約型都市構造への転換を推進するためにも、利用が多く地域の核となる公園を優先的な施設として「選択」し、そこに予算を重点的に「集中」するなど、今後は費用対効果の面も考慮した公園マネジメントの視点が必要になると考えます。

公園ストック再編の視点では、利用率の低い小規模公園の統廃合等によって公園配置を適正化し、維持管理コストの効率化や機能向上を図る“配置の再編”や、これまで画一的であった公園機能を現代の多様なニーズ（子育て世代が住みやすい生活環境、高齢者の健康増進に寄与する施設等）に合った機能に見直すことで、施設の魅力向上や公園ごとの機能分担を図る“機能の再編”が挙げられます。

これらの視点を踏まえた上で市有公園全体の再編に取り組んでいくことが、持続可能な公園の実現に必要となります。